

2022年度 セカンダリ技術研修会（中級応用編・仙台）《対面受講・リモート受講併用》

～建築設備の応用と技術動向を身につけるために～

カーボンニュートラルを標榜した建築・設備と環境・エネルギー・政策等のシナリオ

セカンダリ技術研修会（中級応用編）を開催します。今年度の研修会の内容は、カーボンニュートラルを標榜した建築・設備と環境・エネルギー・政策等のシナリオに関する講義内容とします。

パリ協定（Well Below 2°C）の温室効果ガス排出削減目標を達成するために、欧州では2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロ、2030年の目標を55%としました（いわゆるFit for 55）。日本は若干世界に遅れをとり、2030年の削減46%（50%目標）、2050年の脱炭素を宣言しています。

SDGs や ESG 投資、企業活動に関わる電気エネルギー消費の100%を再生可能エネルギーにする国際的なイニシアチブ RE100、パリ協定に基づく温室効果ガス排出削減目標 SBT 等、様々な動向があります。政府実行計画の改定に基づき、官庁施設が確保すべきエネルギー消費性能として、新築する場合は原則 ZEB Oriented 相当以上とすること等を盛り込み、2022年3月に国土交通省大臣官房官庁営繕部「官庁施設の環境保全性基準」が改定されました。

日本の再生可能エネルギーは電力（発電）に偏っているとされ、地中熱や未利用熱等の再生可能エネルギー熱利用の普及や政策が遅れている傾向があります。これらの趨勢が、建築・設備、業界・企業等の潮流や取り組みにどのように関わるのか、東北に関わる事例の紹介等、裾野を広くした研修会とします。

対面受講の他、Zoom によるリモート受講も併用実施致します。

受講者が関係する分野によって、1日単位で受講することが可能です。各企業・団体等の教育担当の方は、社員の皆さまに、ふるって参加していただくよう、お声がけをお願い申し上げます。

主催 建築設備技術者協会東北支部、空気調和・衛生工学会東北支部

後援（予定） 日本建築学会東北支部環境工学部会、電気設備学会東北支部、日本冷凍空調学会東北地区事業推進委員会、公共建築協会、日本技術士会東北本部衛生工学・環境・上下水道部会、日本設備設計事務所協会連合会北海道・東北ブロック、日本空調衛生工事業協会東北支部、東北空調衛生工事業協会、青森県空調衛生工事業協会、岩手県空調衛生工事業協会、秋田県空調衛生工事業協会、宮城県空調衛生工事業協会、山形県空調衛生工事業協会、福島県空調衛生工事業協会、日本電設工業協会東北支部、青森県電業協会、岩手県電業協会、秋田県電業協会、宮城県電業協会、山形県電業協会、山形県設備技術協議会、福島県電設業協会、地中熱利用促進協会、福島県地中熱協同組合

日程 2023年1月24日（火）～1月25日（水）9:50～17:20

開催場所 宮城県管工事会館 9階 大会議室 仙台市青葉区本町3-5-22 TEL 022-224-7091

定員 対面45名、リモート100名（各講義日ごと先着順受け、日ごとの最小催行人数25名）

CPD 1時間当たり1ポイント（6ポイント/日）

受講料 1日・1人当たり6,000円 但し、学生のみ1,000円（対面受講・リモート受講に関わらず同額）

申込方法 申込書に必要事項を記載して、FAXまたはE-mailにてお送りください。

※建築設備技術者協会と空気調和・衛生工学会東北支部ホームページからはExcelによる申込書がダウンロード可能です。

建築設備技術者協会（セミナー/東北エリア）<https://www.jabmee.or.jp/seminar-th/>

空気調和・衛生工学会東北支部 <http://tohoku.shasej.org>

申込締切 12月22日（木）正午 ※各講義日が定員に達した場合は順次締め切ります。

支払方法 建築設備技術者協会東北支部より、テキスト代を含めて請求書をお送りしますので、1月16日（月）までに、指定口座にお振り込みください。

注意事項

- ・銀行振込受領書をもって、領収書に代えさせていただきます。
なお、建築設備技術者協会東北支部の領収書が必要な方は、その旨をご連絡下さい。
- ・共通配布資料は、対面受講の方には、受講当日、研修会会場でお渡しします。
リモート受講の方には、着払いで送付いたします。

- ・欠席された場合、受講料の払い戻しはいたしませんのでご了承下さい。
- ・1月10日（火）まで、請求書が届かない場合は、申込受付がされていない可能性があります。
下記の申込・問い合わせ先へ連絡ください。

申込・問合せ先

2022年技術研修会係（建築設備技術者協会東北支部、空気調和・衛生工学会東北支部事務局）

TEL : 022-224-7091 FAX : 022-797-2486 E-mail : jabmee@tohoku-shibu.org

プログラム

司会：24日（火）(株)佐藤総合計画 東北オフィス 渡邊 森
 25日（水）(株)山下設計 東北支社 飯塚 雅人

期日	時間	題目・講師（敬称略）	
1月24日 （火）	9:50～11:20	【趣旨説明も兼ねて】10年先を見据えた再エネの有効活用による建築設備のカーボンニュートラル	建築設備技術者協会東北支部 支部長 赤井 仁志
	11:30～12:30	新たなエネルギーソリューション・PPA～導入に向けたヒントと実例	東北電力(株)法人営業部 ソリューショングループ 竹内 進
	12:30～13:00	再生可能エネルギー事業によるカーボンニュートラルの推進	(株)ユアテック 再生可能エネルギー事業部 五十嵐 栄吉
	14:00～14:30	ZEBに向けた導入技術の事例	高砂熱学工業(株)東北支店 坪木 俊輔
	14:30～15:00	県有施設等の再エネ・省エネの推進	福島県土木部営繕課 田母神 秀顕
	15:10～16:10	SDGsと建築業界の取り組み〔SBTやRE100によるエコ・ファースト企業を目指して〕	戸田建設(株) イノベーション推進統括部 樋口 正一郎
	16:20～17:20		ZEBが拓くこれからの省エネビルと三菱電機の取り組み
カーボンニュートラルな社会実現に向けたヒートポンプ給湯機活用			三菱電機エンジニアリング(株) 関野 知
1月25日 （水）	9:50～10:50	設備設計技術者から見たZEB設計のポイント	(株)総合設備コンサルタント 第1設計・監理グループ 道川 新
	11:00～12:00	ZEB事例とその他の環境性能評価	(株)日建設計 エンジニアリング部門 設備設計グループ 伊藤 浩士
	12:10～13:10	水環境施設におけるGHG排出量及びエネルギー消費量	東北文化学園大学 名誉教授 岡田 誠之
	14:00～15:00	イノベーションの創出による創造的復興の拠点・福島国際研究教育機構	復興庁福島国際研究教育機構準備室（元・環境省福島復興担当調整官） 峯岸 律子
	15:10～16:10	海外での地熱・地中熱による地域熱供給の現状～カーボンニュートラルに向けて	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（国際エネルギー機関IEA地熱部門議長） 安川 香澄
16:20～17:20	再生可能エネルギー熱利用の政策提言	再エネ熱利用促進連絡会 笹田 政克	

※ 毎日、開場は9:30分です